

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 30日

尼崎市長 殿

提出者

住所 尼崎市大浜町1丁目56番地

氏名 日油株式会社 尼崎工場
工場長 荊尾 康浩

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6416-1321

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日油株式会社 尼崎工場
事業場の所在地	尼崎市大浜町1丁目56番地
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	1641 脂肪酸、硬化油、グリセリン製造業
②事業の規模	製品出荷額 54,833百万円（令和3年(2021年)度実績）
③従業員数	332人（令和4年(2022年)3月31日時点）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 「各工程での歩留まり向上」 「品質異常に対する対策強化による不良品発生抑制」		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 継続して実施		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 工場内で廃プラスチック・金属・プラ混合廃棄物など数種類の保管場所を設け、各部署からの廃棄物を分別保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 継続して実施

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
(これまでに実施した取組) 工程から発生する廃油・汚泥・廃プラについて、内部で燃焼することで廃棄物の削減をおこなっている。また、発生した蒸気は廃熱ボイラーで蒸気を発生させ熱回収を行っている。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
(今後実施する予定の取組) 継続して実施			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） 特になし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙のとおり t	t
	（今後実施する予定の取組） 特になし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙のとおり t	t
	（これまでに実施した取組） 可能な限り R P F 製造業者への排出を行い、排出廃棄物のリサイクルを推進してきた		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙のとおり t	t
	(今後実施する予定の取組) 継続して実施		

(第6面)

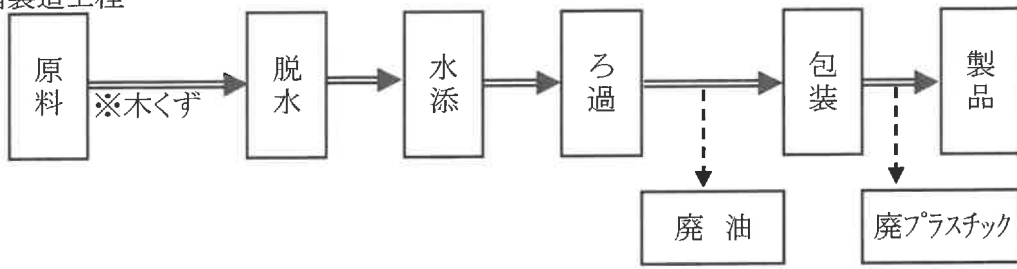
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

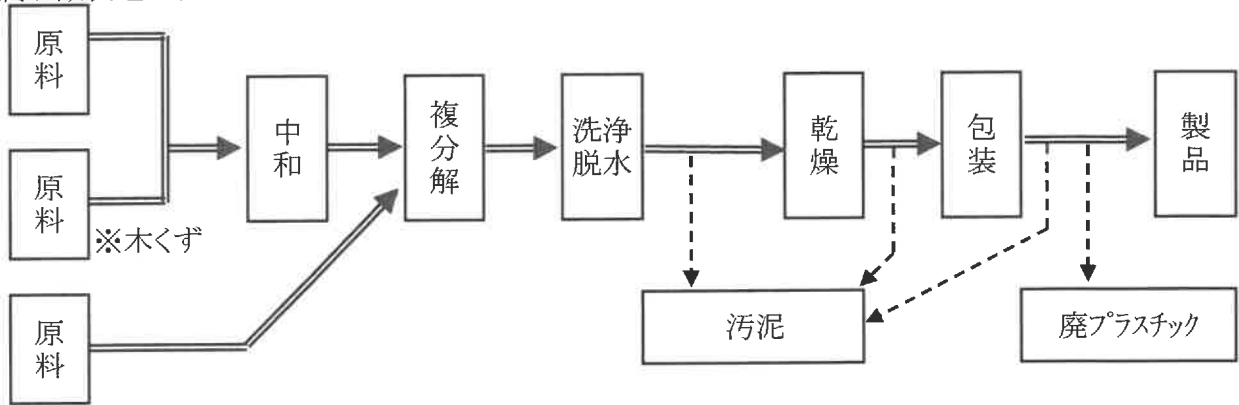
<別紙>

1. 産業廃棄物の一連の処理の工程

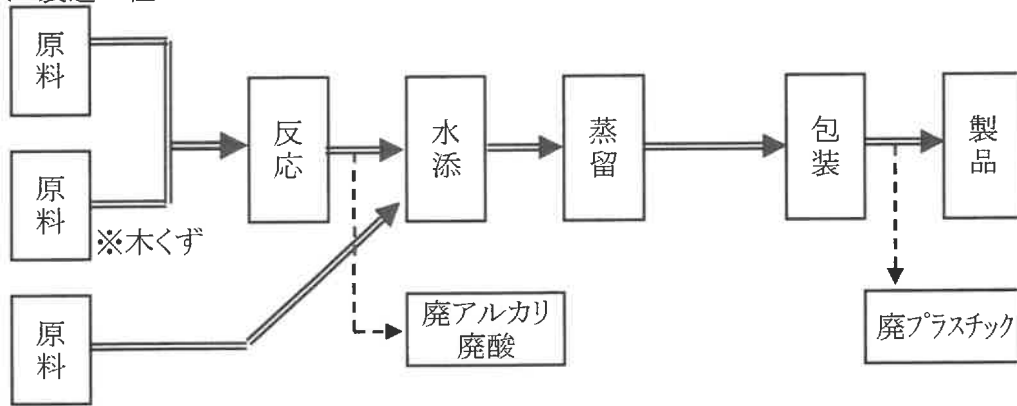
1-1 油脂製造工程



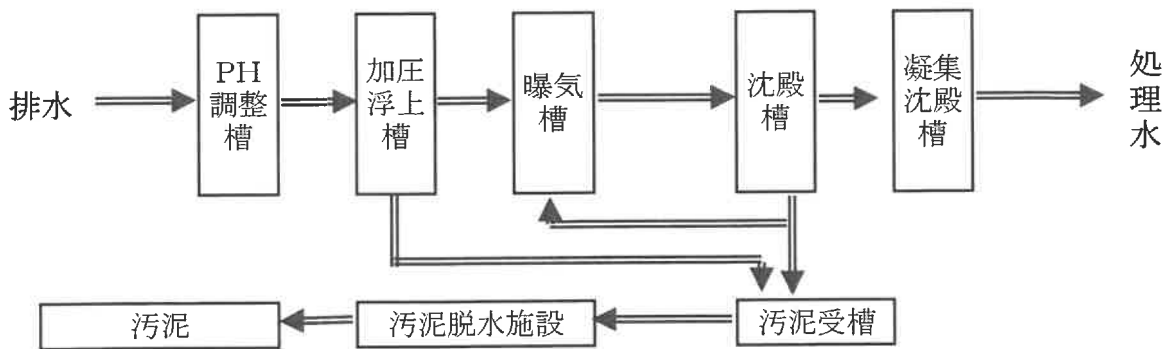
1-2. 金属石鹼製造工程



1-3. アミン製造工程



1-4. 排水処理工程



※木くず(原料の運搬用に使用したパレット)

①燃え殻

収集運搬<委託>→焼成<委託>→再資源化

②汚泥

収集運搬<委託>→油分回収<委託>→燃料

収集運搬<委託>→混練<委託>→再資源化

収集運搬<委託>→混合<委託>→燃料

③廃油

収集運搬<委託>→油分回収<委託>→燃料

収集運搬<委託>→混合<委託>→燃料

収集運搬<委託>→焼却<委託>→焼却残さは再資源化または埋立

④廃酸

収集運搬<委託>→中和・生物処理<委託>→燃料

⑤廃アルカリ

収集運搬<委託>→中和・焼却<委託>→焼却残渣は再資源化

⑥廃プラスチック

収集運搬<委託>→破碎<委託>→燃料または再資源化、処分業者焼却後埋立

⑦金属くず

収集運搬<委託>→破碎<委託>→再資源化

⑧木くず

収集運搬<委託>→破碎<委託>→燃料または再資源化

⑨ガラス類

収集運搬<委託>→溶融<委託>→溶融残さは再資源化

⑩ガレキ類

収集運搬<委託>→破碎・分別<委託>→燃料または埋立

⑪水銀

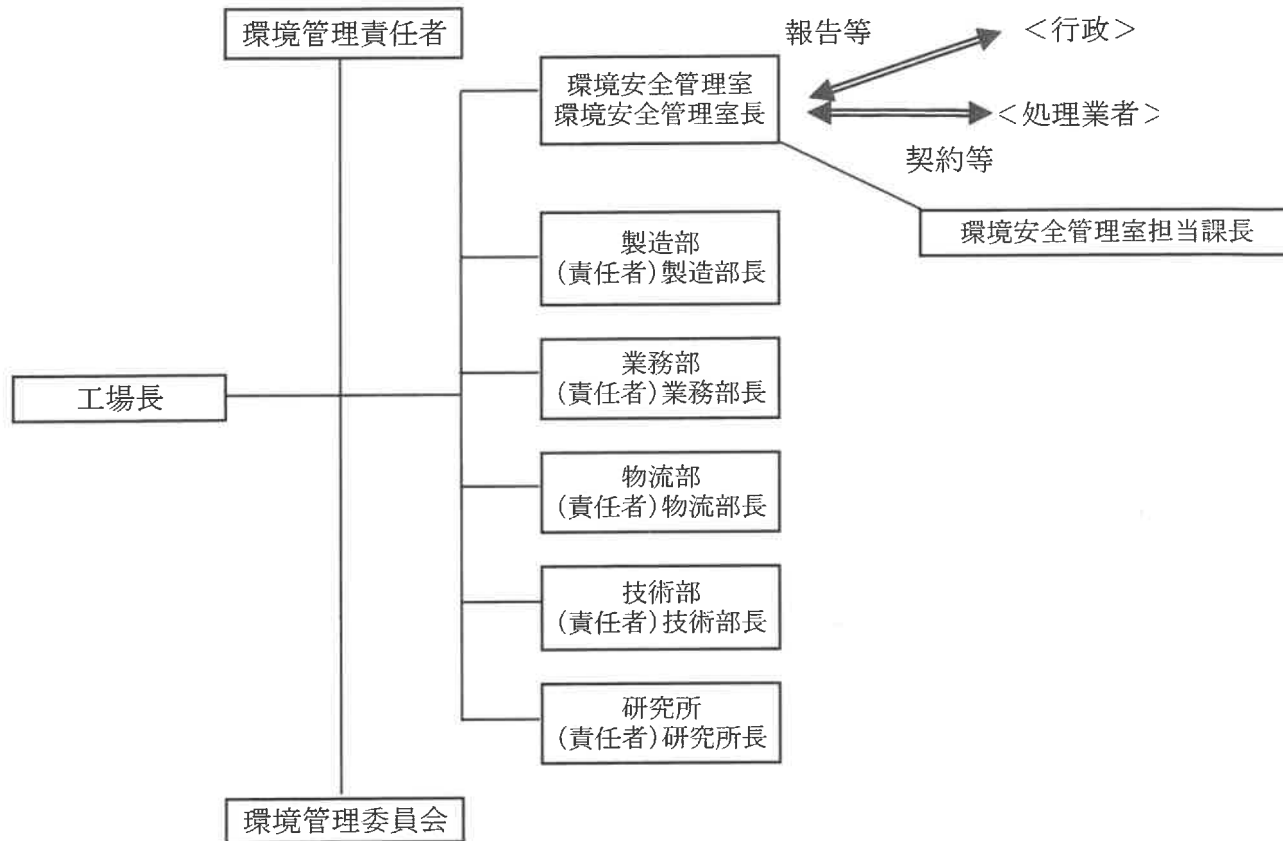
収集運搬<委託>→分別<委託>→再資源化または埋立

2. 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

①管理体制

工場内の各部署と協力し、廃棄物処理に対応するための横断的な組織(環境管理委員会)を編成する。



*分担

環境安全管理室(担当:環境安全管理室担当課長)

- ・工場内のマテリアルフローの把握、統合的な廃棄物減量計画の立案
- ・工場内の廃棄物処理計画の策定、部署間の調整、行政への報告
- ・処理委託業者の選定、廃棄物処理委託契約等手続き、引渡し、適正処理の確認
- ・工場内の他部署への関係法令等の教育、啓発、指導監督

製造部、業務部、物流部、技術部、研究所(担当:全部署)

- ・部署内の発生産業廃棄物の発生量削減、分別、場内保管場所への運搬
- ・部署内スタッフへの分別方法等の徹底

7. 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

○ 現状 前年度(令和3年度)実績

(単位:t)

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	金属くず	木くず	ガラス類	ガレキ類	水銀使用製品
全処理委託量	4	8,100	1,387	154	101	285	40	72	21	21	0.050
優良認定処理事業者への処理委託量	4	8,037	932	154	101	285	40	72	21	21	0.050
再生利用業者への処理委託量	4	8,037	1,342	154	101	193	40	72	21	0	0.000
認定熱回収業者への処理委託量	0	142	866	0	0	0	0	0	0	0	0.000
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	588	58	154	0	92	0	0	12	0	0.000

○ 計画 目標

(単位:t)

産業廃棄物の種類	燃え殻	汚泥	廃油	廃アルカリ	廃酸	廃プラスチック	金属くず	木くず	ガラス類	ガレキ類	水銀使用製品
全処理委託量	0	8,000	1,300	90	30	250	40	60	20	11	0.050
優良認定処理事業者への処理委託量	0	8,000	800	90	30	240	40	60	20	11	0.050
再生利用業者への処理委託量	0	7,900	1,300	0	30	250	40	60	20	11	11.000
認定熱回収業者への処理委託量	0	7,900	800	0	0	0	0	0	0	0	0.050
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	450	20	90	30	100	0	0	15	0	0.050